

しちがはま

議会だより

No. 129

平成28年11月1日
宮城県七ヶ浜町議会

今年も美味しい米が
獲れたよ!!

特集 平成27年度 一般会計 決算 2

議案 サッカースタジアム競技面改修工事 など 11

通学路を含めた交通安全対策は など 6人が一般質問 14

平成27年度
一般会計
決算

復興の喜び

全地区で夏祭り

9月
定例会

収入-支出=黒字になりました

残ったお金 30億 325万円

28年度の特定事業へ 24億 760万円

28年度に繰り越し 5億9565万円



バーベキューの集い
(平成28年度
笹山地区の夏祭り)



菖蒲田浜
諏訪神社祭り
(平成28年度)

支出 歳出
157億9512万円

農業水産振興、松くい虫等防除、緊急雇用創出ほか
農林水産業費 商工費・労働費 3% 4億3282万円

災害復旧費 2% 3億1393万円

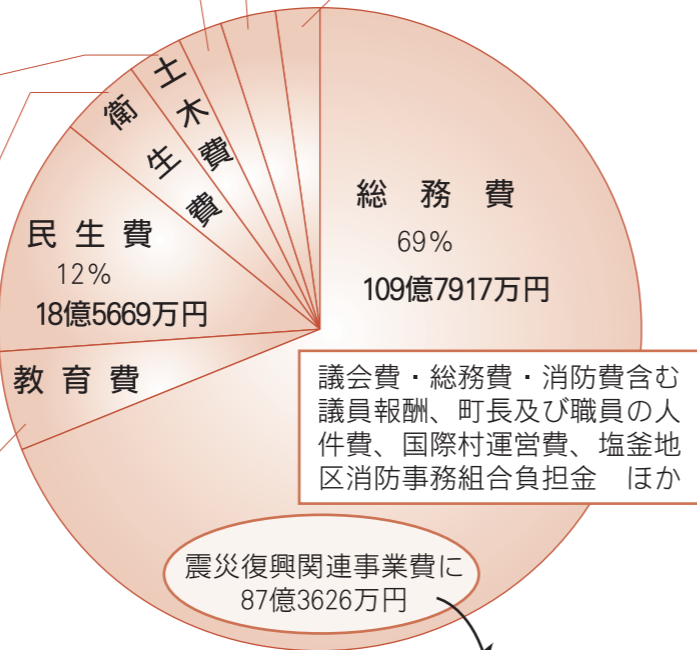
公債費 (借金返済)
2% 3億1698万円

道路管理、下水道管理ほか 3% 5億4607万円

ごみ処理などの清掃費、検診などの保健衛生費ほか
4% 5億6324万円

老人・障害・児童福祉、保育所運営ほか

学校管理費、生涯学習センター運営ほか
5% 7億8622万円



議会費・総務費・消防費含む
議員報酬、町長及び職員の人件費、国際村運営費、塩釜地区消防事務組合負担金 ほか

金額は合計に合わせて千の位で四捨五入しています。

詳細は4ページ

収入 歳入
187億9837万円

借金ほか 5% 9億8127万円

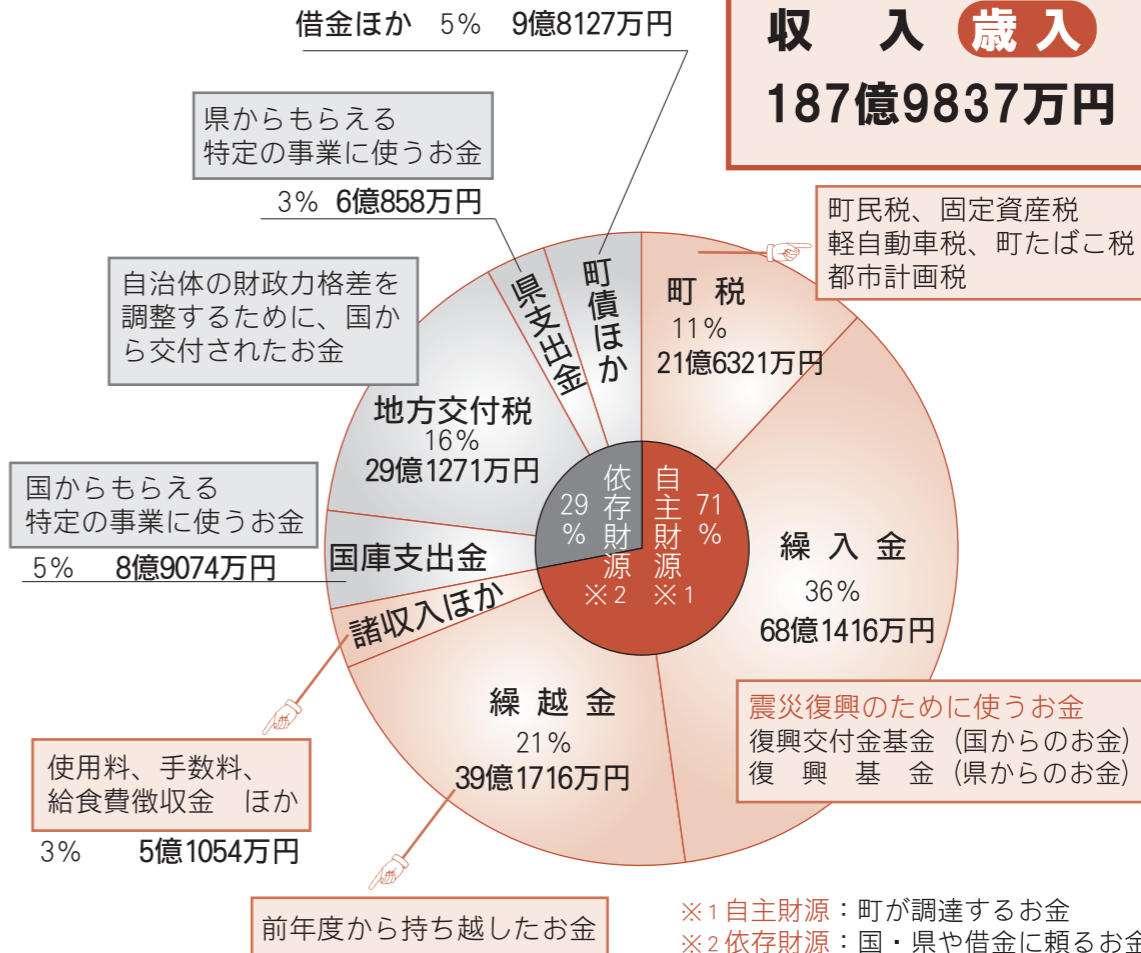
県からもらえる
特定の事業に使うお金
3% 6億858万円

自治体の財政力格差を調整するために、国から交付されたお金

国からもらえる
特定の事業に使うお金
5% 8億9074万円

使用料、手数料、給食費徴収金 ほか
3% 5億1054万円

前年度から持ち越したお金



※1 自主財源：町が調達するお金
※2 依存財源：国・県や借金に頼るお金

9月定例会を9月5日から15日までの会期で開催しました。教育長の任命等の人事や地区画整理事業の契約、平成28年度補正予算など29件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。
また、一般質問は6人が町の考えをただしました。
平成27年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議しました。審議内容の特集として6〜8ページに掲載しました。

各種会計決算額

会計名	収入	支出	差引額	採決の結果	
一般会計	187億9837万円	157億9512万円	30億 325万円	賛成11：反対2 (歌川・木村)	
下水道事業	8億2566万円	8億 179万円	2387万円		
国民健康保険	26億1085万円	24億7795万円	1329万円		
介護保険	15億4092万円	14億4369万円	9723万円		
後期高齢者医療	1億6532万円	1億6314万円	218万円		
公園墓地事業	5519万円	5449万円	68万円	全員賛成	
水道事業会計	収益的 ^{*1}	6億5179万円	5億4590万円	1058万円	賛成11：反対2 (歌川・木村)
	資本的 ^{*2}	181万円	2億1959万円	2億1778万円 ^{*3}	

*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用

*2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

*3 不足分は積立金（留保資金）などで補てん

財源構造

区分	平成27年度	平成26年度	県平均 (平成26年度)	説明
財政力指数	0.60	0.59	0.51	自主財源で賄える運営経費の基準指数。 大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	96.2%	93.8%	90.8%	人件費などの必要経費の割合。 比率が低いほど、財政に弾力性がある。
経常一般財源比率	97.4%	98.8%	92.7%	歳入構造の弾力性を表した比率。 100を超えると余裕がある。

健全化4指標

区分	平成27年度	平成26年度	県平均 (平成26年度)	説明
実質赤字比率 15.00% ^{*1}	なし	なし	なし	普通会計（一般会計と公園墓地会計） の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 20.00% ^{*1}	なし	なし	なし	公営企業などを含む全会計に占める赤 字の割合。
実質公債費比率 25.0% ^{*1}	2.6%	3.2%	8.9%	自治体の収入に対する借金返済額の割 合。
将来負担比率 350.0% ^{*1}	算出されず	算出されず	33.5%	将来にわたる実質的負債「借金」の割 合。

*1 早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。

監査の意見

平成27年度決算審査の結果、一般会計、各種特別会計、水道事業会計とも良好なものと認められ、経費の節減に努力していることも伺える。特に、一般会計の決算規模は前年度と比較すると減少したものの、東日本大震災前の平成22年度と比較すると歳入が約3.3倍、歳出が約2.9倍に増加し、引き続き東日本大震災関連の予算編成となっている。

予算は必ずしも100%執行されたから良いというものではないが、「最小の経費で最大の効果を挙げよう」という原則に則った効果的な執行を望む。



代表監査委員
遠藤 均 さん



平成27年度 震災復興推進事業に 87億3626万円を使いました

主な事業内容

委託事業費 35億7758万円

事業	金額	事業内容
地区避難所建築監理業務	1219万円	菖蒲田浜、要害・御林、笹山、花洲浜 代ヶ崎浜
都市公園実施設計業務	5136万円	菖蒲田浜、花洲浜
防災集団移転造成施工監理業務	3770万円	笹山
災害公営住宅整備業務	31億6504万円	菖蒲田浜、花洲浜、代ヶ崎浜



災害公営住宅への入居状況



土地区画整理事業状況

工事費 31億529万円

事業	金額	事業内容
地区高台住宅団地造成工事	12億3565万円	笹山
地区避難所造成及び建築工事	2億1816万円	菖蒲田浜、要害・御林、花洲浜 笹山、代ヶ崎浜
都市公園整備工事	1億6158万円	汐見台南、菖蒲田浜海浜公園、割山、諏訪前
被災市街地復興土地区画整理事業	6億2519万円	菖蒲田浜、花洲浜1.2工区 代ヶ崎浜A・B工区

公有財産購入費 1億4919万円

事業	金額	事業内容
従前地用地取得費	1億 315万円	各地区用地取得 (9,611㎡)
都市公園用地取得費	4494万円	花洲浜表浜地区 (17,381㎡)

負担金、補助金および交付金 8億7794万円

事業	金額	事業内容
住居移転費用補助	9649万円	302件
住宅ローン利子補給補助	3億8169万円	95件
住宅大規模修繕費補助	7363万円	121件
住宅再建補助	1億6961万円	184件
高台住宅団地外構工事補助	5545万円	111件
災害公営住宅入居支援補助	3980万円	174件

補償、補填および賠償金 2億5144万円

事業	金額	事業内容
各地区土地区画整理事業補償等	2億4504万円	70件

決算審査

平成27年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月7日から13日までの日程で行いました。
各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。その後、討論・採決の結果、全会計の決算を認定しました。主な内容を要約してお知らせします。



渡邊 淳 副委員長
我妻 周悦 委員長

どのように使ったのか 各課審査で質疑応答

教育関連

問 学力テストの結果を見ると、全国平均および県平均より下回っている。今後の対応は。
答 教育長 学力向上のための3つの取り組みをしている。
①本時目標を明確化する。
②場面の設定を考える。
③まよめの「ふりかえり」をする。



一生懸命勉強している子どもたち

問 要保護・準要保護世帯に、新入学学用品を支給していないが、今後の対応は。
答 教育総務課長 現在の条例・規則に則り対応している。

問 諏訪前緑地は、調整池の機能をしているのか。
答 復興整備課長 阿川沼の水位が高くなった時、調整池の役割を果たすようになっている。

子育て支援

問 留守家庭児童保育館の非常勤職員への被服貸与をすべきである。
答 子育て支援センター所長 被服貸与は、町非常勤職員および臨時職員と同様に扱っている。



障がい者支援

問 扶助費が850万円増額された理由は。
答 地域福祉課長 障がい者の自立支援援助の増額である。

問 町民プールの室内に、塗装鏝が落ちているのはなぜか。
答 生涯学習課長 老朽化が原因であるが、随時点検・清掃を実施している。



より良い点検・清掃が必要なプール

問 多聞山の遊歩道除草は、36万円の補助金で十分だったのか。
答 産業課長 老人クラブとは、年何回かは打ち合わせをしている。今後も協議をしながら進めたい。

環境美化対策

問 あさひ園の利用者の賃金が下がっている理由は。
答 地域福祉課長 アルミ缶回収や箱折りなどの事業を行っているが、以前と比べると単価が下がっていることや、作業員の減少によるものである。

あさひ園



アルミ缶回収作業

健康増進

問 胃がん検診の受診率が下がっている要因は。
答 健康増進課長 町で検査した人の受診率で、個人が病院等で検査したものは受診率には入っていない。

問 多くの町民に親しまれている大木田貝塚の園路を、年3回は除草すべきと思うか。
答 文化財係長 広大な面積であり、多額な除草費用が掛かるが検討する。



除草すべき大木田貝塚の遊歩道

問 要害から代ヶ崎浜までの海岸漂着物搬出は考えているか。
答 生活衛生係長 ボランティア等も含め検討する。



海岸漂着物の搬出を

監視カメラ

問 防災用の監視カメラの設置場所とモニターの場所は。
答 総務課長 役場の屋上と吉田浜（上ノ台）の防災無線の立っている場所である。モニターは総務課にある防災行政無線の放送室に設置している。

防災行政無線

問 5力所増設したが、まだ無線が聞こえない地域がある。今後の対応は。
答 総務課長 申し込みがあればデジタルの小型受信機を無償・無条件で貸出する。



無償貸出の小型受信機



焼き海苔加工施設

震災復興

問 「七のや」および「焼き海苔工場」の土地は賃貸契約をしているのか。その内容は。
答 財政課長 「七のや」の賃貸料は、固定資産税と同額である。「焼き海苔工場」は、町との6次産業開発事業であり、5年間の無償貸付である。

問 公園等の公共施設に「ゴミ回収容器を設置する必要がある」。
答 副町長 管理している各課と検討する。

補正予算

平成28年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出にそれぞれ7億2822万円を追加して、歳入歳出の総額を109億5751万円としました。主なものは、被災市街地復興土地区画整理事業建物移転等保障費やガレキ撤去工事等の復興事業費、町内バス路線確保対策負担金等の増額によるものです。審議の結果、反対なく原案のとおり可決しました。



増便される「ぐるりんこ」

問 各地区公民分館建設費の補助金(105万円)の内容は。
答 生涯学習課長 吉田 浜は内部クロス貼り等で、汐見台は玄関に風除室を付けた改修工事である。

問 松くい虫伐倒駆除委託料(85万円)の対象地域は。
答 産業課長 国からの追加補助につき町内全域が対象となるため調査したうえで実施する。

問 吉田浜および汐見台第1公民分館の修繕内容。
答 生涯学習課長 特別条件はないが、次世代を担う子どもたちの事業に充てる。

問 シンガポール赤十字からの指定項目の内容は。
答 政策課長 はまぎく児童保育館改築工事へ充当する。

お も な 内 容		一 般 会 計	補 正 額
歳入	繰越金		4億4249万円
	東日本大震災復興交付金基金繰入金		2億5052万円
	震災復興特別交付税		8087万円
	指定寄附金(はまぎく児童保育館改築工事等)		4720万円
	町債(臨時財政対策債等を減額)		▲8995万円
歳出	被災市街地復興土地区画整理事業建物移転等保障費		2億8120万円
	財政調整基金積立金		2億282万円
	教育振興基金積立金		1億3180万円
	被災市街地復興土地区画整理事業ガレキ撤去等工事		3950万円
	町民バス「ぐるりんこ」路線確保対策負担金		1995万円

「ぐるりんこ」の増便で通勤通学の利便性を図ります

「ぐるりんこ」

路線確保対策負担金(1995万円)

質 疑

問 委託料の事業内容は。
答 政策課長 バス会社の委託費は(人件費・車両・車両1台増・保険金等)で、その他運行経費は定期券発行費やバス停の設置、名称変更や時刻表等の印刷代である。

多間山東屋修繕料(25万円)

(25万円)

問 老朽化に伴う補強と聞いたが、毘沙門堂への遊歩道、階段など破損箇所が見受けられるが修繕は含まれているのか。
答 産業課長 今回の修繕は、多間山東屋の支柱が腐食等により現状1本で支えているので、今後傾かないように4本の柱を追加する工事であり、他の修繕は含まれていない。

A社からの指定寄付金(720万円)

(720万円)

問 A社からの指定寄付金として、年度内に使い切る等の条件は。
答 生涯学習課長 特別条件はないが、次世代を担う子どもたちの事業に充てる。

問 シンガポール赤十字からの指定項目の内容は。
答 政策課長 はまぎく児童保育館改築工事へ充当する。

討 論



…なので反対します

…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

次の点で反対する。
①留守家庭児童保育館の非常勤職員へ被服を貸与していない。
②公園等の公共施設にゴミを回収する容器を設けていない。
③非常勤職員等の賃金を県の最低賃金に引き上げしていない。
④遠山保育所の改修、改善が先延ばされている。
⑤児童生徒の「要保護・準要保護」世帯に、新入学学用品を入学前に支給していない。
⑥基金を年次的に取り崩し、被災された住民、事業者に負担の軽減をしていない。
賛成 鈴木初雄
次の点で賛成する。
①町の健全化判断比率でも良好な状態である。
②住宅の復興を最優先にし、高台住宅団地の整備および災害公営住宅の整備が完了した。
③地区避難所と防災拠点である生涯学習センターの改築が完成した。
④子ども医療費助成を中学生対象に、児童保育館の対象を小学4年生まで拡大した。
⑤各施策において、経費の節減に努め適正かつ健全な予算執行をした。

下水道事業

反対 歌川 渡

一般会計からの繰入金を増やすこと。また、資本費平準化債や金利の高い起債を借り換えをして下水道料金の引き下げを求める。
賛成 遠藤久和
土地区画整理事業に沿った災害復旧工事を実施している。施設の老朽化等の維持管理にも効率的な事業を進めている。
国民健康保険
反対 歌川 渡
過大な積み立てをせず、基金の計画的な取り崩しをして国保税を引き下げること。また、一般会計より繰入して国保世帯への負担軽減を求める。
賛成 佐藤 壮一
レセプト点検・後発医薬品利用差額通知を実施し医療費の適正化に取り組んだ。生活習慣予防のための特定保健指導を実施した。
介護保険
反対 歌川 渡
利用者の病状に応じたサービスが受けられない状況である。介護予防事業としてアクアリーナを無料にし、高齢者の健康運動施設にすることを求める。
賛成 岡崎正憲
限られた予算の中で、国民と介護利用者との一定の負担はあるが、高齢者の尊厳を保持しながら適正なサービスを受けている。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

高齢者を大切にしていない後期高齢者医療制度である。以前の老人保健制度に戻し、国民の英知による医療制度が必要である。
賛成 仁田秀和
低所得者の軽減措置として、保険基金安定負担金である。県後期高齢者医療広域連合会で、十分審議されている会計決算である。
水道事業会計
反対 歌川 渡
建設事業費は起債充当可能であり建設改良の起債は必要ない。現金預金の計画的取り崩しと県の受水量引き下げ分による水道料金の引き下げを求める。
賛成 佐藤 衛
27年度の純利益は、高料金対策補助金が該当したためである。資金運用計画や経営戦術計画を策定し効率的な運営をしている。
※公園墓地は
反対なく全会一致で可決

議案審議

財産の取得

●小型動力ポンプ積載車
 内容
 現在のポンプ車は、19年が経過し、あらゆる災害に迅速かつ柔軟に対応するため、小型可搬式動力ポンプ積載車を取得するものです。

ポンプ積載車(2台)を購入



購入するポンプ積載車

第3分団(菅浦田浜) 第8分団(吉田浜)

契約先 株式会社アオキ
 取得金額 1393万円

採決結果
 反対なく全会一致で可決

水道事業会計

●平成27年度水道事業会計
 未処分利益剰余金の処分

内容
 平成27年度利益剰余金3400万円を建設改良積立金に積み立てるものです。

質疑

問 水道料金を引き下げ、町民の負担の軽減をする考えはないか。
答 町長 平成27年度の損益計算を見ると高料金が含まれるため、高料金の補助)が含まれるため、どうか運営をしている。

●情報セキュリティ強化対策機器一式

内容
 マイナンバー利用事務系の対策強化を図るためのシステム機器です。

契約先 株式会社TKC
 取得金額 970万円

採決結果
 反対なく全会一致で可決

討論

反対 歌川 渡
 建設改良積立金に充当しないで、町民への水道料金の引き下げに充てるべきである。
 賛成 佐藤 梶信
 今後も安全で良質な水を安定的に供給するためには、建設改良工事が重要かつ必要である。

採決結果
 賛成 11
 反対 2
 賛成多数で可決

サッカースタジアム

競技面改修工事

天然芝から人工芝へ
 平成29年夏に開催される南東北インターハイや今後行われる全国規模大会への誘致を図ります。また、維持管理削減のため、人工芝に張り替えるものです。



人工芝に張り替えられるサッカースタジアム

契約金額 1億7496万円
 工期 平成29年3月15日
 契約先 長谷川体育施設株式会社

工事契約			
工事名	契約先	金額	工期
平成27年度被災市街地復興土地区画整理事業 公共施設整備工事(花洲浜地区5工区)	丸勘建設(株)	5918万円	平成29年3月31日

工事変更契約			
工事名	契約先	金額	理由
平成27年度被災市街地復興土地区画整理事業 公共施設整備工事(菅浦田浜地区)	池田建設(株)	1億5887万円 (3359万円の増額)	工事範囲を広げ早期完了を図る

人事

任期満了に伴い、議会の同意を得て任命されます。

教育長(再任)



任期 平成28年10月1日から 3年間
 武田光彦さん(汐見台)

教育委員(再任)



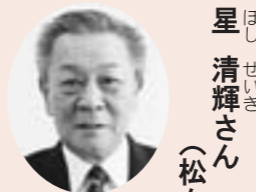
任期 平成28年10月1日から 4年間
 氏家恵美子さん(湊浜)

監査委員(再任)



任期 平成28年10月1日から 4年間
 遠藤均さん(汐見台)

固定資産評価審査委員(新任)



任期 平成28年10月1日から 3年間
 星清輝さん(松ヶ浜)



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

9月定例会の一般質問は、5日に行い6人が活発な議論を展開しました。

内容は質問者の原稿を原文に近い形で14ページから19ページに掲載しています。

なお、タイトルは通告のとおりです。

岡崎 正憲 …… 14ページ

- 通学路を含めた交通安全対策をどのように進めるか

熊谷 明美 …… 15ページ

- ファミリー向け公園の設置について
- 既存公園のトイレ整備について

木村 稔 …… 16ページ

- 子どもの貧困化対策について
- 18歳までの子供医療費無料化対象年齢拡大について

歌川 渡 …… 17ページ

- 町民バス「ぐるりんこ」の運賃について
- 国保税の引き下げに「保険者支援金」活用について
- 就学援助の新入学学用品費の入学前の支給について

遠藤 久和 …… 18ページ

- 海水浴場の運営、安全管理体制について

渡邊 淳 …… 19ページ

- 町のエネルギー政策について
- 菖蒲田漁港の整備計画について

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載された資料を配布しております。

9月定例会 提出議案採決結果一覧 (9/5~9/15)



9月定例会では、人事や条例改正、平成28年度各種会計補正予算等の議案21件、認定7件、報告1件および閉会中の継続調査申出書（総務・教育常任委員会、産業建設・厚生常任委員会）の審議をしました。

賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

※27年度各種会計決算の審議内容（採決）は5ページに、掲載しています。

●賛否が分かれた議案

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	仁田 秀和	木村 稔	熊谷 明美	佐藤 壮一	安倍 敏彦	佐藤 衛	渡邊 淳	遠藤 久和	鈴木 初雄	我妻 周悦	佐藤 梶信	歌川 渡	岡崎 正憲	大町 睦夫
平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	10	11	2	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

○賛成 ●反対 議長（大町睦夫）は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例制定・改正	掲載ページ
○仙台都市圏広域行政推進協議会規約の変更 他 5件の規約変更	—
○県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会 共同設置規約の変更（富谷町の市制移行に伴う関連規約の変更）	—

契約関係ほか	掲載ページ
○工事請負契約「土地区画整理事業（花洲浜・5工区）」	11
○工事請負契約「サッカースタジアム競技面改修工事」	11
○工事請負変更契約「土地区画整理事業（菖蒲田浜）」	11
○財産の取得「小型動力ポンプ積載車」	10
○財産の取得「情報セキュリティ強化対策機器」	10

人事関係	掲載ページ
○教育長の（再任）任命	10
○教育委員会の委員の（再任）任命	10
○監査委員の（再任）選任	10
○固定資産評価審査委員会の委員の（新任）選任	10

補正予算	掲載ページ
○平成28年度一般会計補正予算（第2号）	9
○平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	—
○平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	—
○平成28年度公園墓地事業特別会計補正予算（第1号）	—
○平成28年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	—



ファミリー向け公園を設置せよ

町長 用地確保と財政負担を考えると難しい



くまがい あけみ
熊谷 明 美

問 震災後の総合的な復興と発展を考えた時に自然環境に恵まれたこの七ヶ浜で、町民が心豊かに健康で充実した生活を送っていく事が大切と考えられる。そのために老若男女が気軽に利用でき、休日や余暇をゆとり過ごし、送るファミリー向け公園を設置する考えはないか。

答 町長 本町には都市公園が62カ所、児童遊園が11カ所設置されている。また、津波防災緑地事業で7カ所、地区広場整備事業で2カ所整備をする。合わせると都市公園条例の町民1人あたりの面積を充分満たしている。



リフレッシュができる公園が必要

問 児童公園等は多数有るが、テントを張ったり幼児用遊具が設置されてあり、アスレチックやパークゴルフなどができる公園がない。住みよい町づくりの観点から設置が必要ではないか。

答 多目的に利用できる設備がある公園で規模が大きいファミリー向け公園は、東北・北海道の中で面積が一番小さい本町にとっては、用地確保と財政負担を考えると難しい。

問 現在は仮設住宅が有るが、将来的に野外活動センターを再整備し活用していく考えは。

答 野外活動センターは現在キャンプ場が利用できる。平成25年にできたぎずな公園も多くの親子連れに利用されている。仮設住宅の撤去工事後、パターゴルフ場も復旧予定である。遊具設備等の設置は利用者の安全を考え検討する。

問 維持管理はどのような状態になっているのか。

答 町シルバークリーニングに、週2回トイレの掃除など維持管理を委託している。

問 観光名所である君ヶ岡公園や多聞山の公衆トイレは、建物の入口にドアもなく虫が入っていたり、落ち葉やごみが落ちていたりする。ドアのある新しい公衆トイレに建て替える考えは。

答 町長 君ヶ岡公園は多少劣化がみられるが不具合はみられない。改修や建て替えは考えていない。多聞山の公衆トイレは25年が経過しており、国・県の補助を視野に入れて改修もしくは建て替えを検討する必要がある。



建て替えも視野に入れて

問 週2回では少ないと思うが、増やす考えはないか。

答 産業課長 利用者の少ない冬場を減らし、利用回数の多い時期に増やすなど工夫をしていく。

既存公園トイレの整備と管理をせよ

町長 多聞山の公衆トイレは検討する必要がある



信号と恒久的な標識を（菖蒲田浜にて）

問 菖蒲田浜地区には注意看板が設置されたが臨時的なもので、ポータブル信号機で確認され緊急性があり、町独自で対策ができる事案への具体的な対応は。

答 町長 急なカーブがある代ヶ崎地区の道路拡幅を行った。また、カーブミラーの設置や移設、ならびに学校での注意喚起のぼりの設置を検討している。

問 菖蒲田浜地区には注

答 町長 急なカーブがある代ヶ崎地区の道路拡幅を行った。また、カーブミラーの設置や移設、ならびに学校での注意喚起のぼりの設置を検討している。

問 県または警察に対する本町の姿勢は。

答 優先順位を最上位に位置付けて要望を提出している。今後県警に対し要望を続けると同時に連絡調整を密に行う。

ひとことメモ
「通学路交通安全プログラム」とは継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検の実施や対策の改善・充実を行うおうとするもの。

問 昨年9月定例会での一般質問や本年3月定例会における予算審査特別委員会での質疑、その後の総括質疑を通して「通学路を含めた交通安全対策」の推進政策を求めた。

問 県道を含めて町独自の構造物を設置できるのか。

答 町長 各種手続きは必要と思うが、設置は可能と考える。

問 県道を含めて町独自の構造物を設置できるのか。

答 町長 各種手続きは必要と思うが、設置は可能と考える。

問 県または警察管轄の事案内容と管轄先の見解および対策の有無は。

答 町長 県道への信号設置を2カ所要望している。君ヶ岡公園前の交差点は、口頭ではあるが本年度中に設置すると県警から回答があった。菖蒲田浜峠下の県道横断箇所の信号は町と教育委員会の連名で塩釜警察署に要望書を提出しており、警察の現地確認は終了している。

問 合同点検における事案と対策の住民への公表方法は。

答 地図での表示を含め、ホームページや学校を通じて公表したい。



おかざき まさのり
岡崎 正 憲

町長 警察等と連絡調整を密にして対処していく

交通安全対策の進め方は



問 合同点検における事案と対策の住民への公表方法は。

答 地図での表示を含め、ホームページや学校を通じて公表したい。

問 ボランティアである見守り隊や区長との情報交換・共有は、スムーズに行われているのか。

答 見守り隊とは定例の連絡会で情報交換を行っている。区長には区長会で内容の公表をしたい。

「ぐるいんこ」の最高運賃額は300円に

町長 区間距離加算で負担の公平を図っている



うたがわ 歌川 わたる 渡



町内100円+町外200円=300円では

問 現在、「ぐるいんこ」の運賃料は、町内区間100円、町外区間200円としていることから、運賃の最高額を300円にする考えはないか

答 町長 平成27年度の実績を参考に、現在の最高額4000円および3500円を3000円に減額すると、運賃収入で100万円の減収となる。一定区間を超えた町外料金には、区間距離に応じて加算し、負担の公平性を図っている。



きむら 木村 みのる 稔

子どもの貧困対策を

町長 重大な課題と認識している

問 「子ども貧困対策の推進に関する法律」が制定され、さらに「子ども貧困対策に関する大綱について」が閣議決定された。町としてはどのように受け止めているか

答 町長 本町としても重大な課題だと認識している。を参考にしながら教育や生活、保護者への就労支援等の取り組みを検討している。



問 子どもの貧困化の実態を町はどのように把握しているのか

答 子どもの貧困は、保育料や給食費の未納等の形で身近な問題として存在している。

問 子どもの貧困化にどのような対策を検討しているのか

答 国の「子どもの貧困対策の大綱」さらに県の「子ども貧困対策計画」に沿った支援、施策

ひとロメモ

「子どもの貧困」とは一定の所得に達していない困窮した家庭で暮らしている17歳以下の子どもが存在および生活状況をいう。現在、子どもの6人に1人が貧困と言われている。

18歳まで医療費無料化拡大を

町長 前向きに検討している

問 2歳児までの県と町の負担割合は現在いくらか。また、県は3歳児から6歳児まで拡大する事を表明した。今後拡大した場合、県と市町村の負担額はいくらになるのか

答 町長 現在、3歳児から6歳児までの子ども医療費無料化にかかる町の費用額はいくらか。

問 町長 現在、2歳児まで県・町それぞれ2分の1である。3歳から6歳に拡大すれば、それぞれ1042万9千円となる。(実績ベース)

答 町長 1035万4千円であり、内、入院は87万5千円である。(平成27年度実績ベース)

問 16歳から18歳まで無料化した場合は、どのくらいの費用額が見込まれるのか

答 町内の16歳から18歳の人数は平成28年度

4月1日現在で620人であり、16歳から18歳まで無料化した場合の積算額は、730万円が見込まれる。(平成27年度医療機関受診実績ベース)平成28年度8月31日に県より拡大内容が示されたばかりである。本町としても、これから拡大内容を精査し資料収集している状況である。前向きに検討している。

国保税の引き下げに

保険者支援金の活用を

町長 増税を抑えるため保険給付費に充当

問 平成27年度から国の保険者支援制度の拡充等がされた。1人当たり約5000円が財政改善効果として町に配分されているが、総額でいくら配分され、一人当たりの財政支援はいくらだったのか。どのような事業に充当したのか。また、平成28年度は、どのような事業を考えているか。

答 町長 平成27年度の保険者支援金は約3524万円で、一人当たり約4800円となる。

本来、国保税の増額改訂が必要だったが、負担緩和と保険基盤安定の経費とした。平成28年度も保険給付費に充当したいと考えている。

就学援助の新入学

学用品費を入学前に

教育長 年度前の支給は手続き上難しい

問 昨年3月定例会に続く質問となるが、支給名称にもあるように、入学に必要な費用助成であることから、児童・生徒の入学前に「新入学学用品費」を支給する考えはないか。

答 教育長 学校教育法第19条には「経済的

理由によって、就学困難な児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を与えなければならない」と規定されているので、入学前の支給は適用外となっている。同制度と別に「入学準備金」を設けても、年度前の支給は、所得基準が異なることもあり、手続きも複雑なため難しい。





わたなべ あつし
渡 邊 淳

自然エネルギー普及の考えは

町長 県の政策情報を収集する

問 県内では再生可能エネルギーの導入に向け官民研究会も発足し、海上や沿岸部に事業展開が可能なか検討が始まる。開発規制のある地区でも立地可能な地区が出てくる事が予想される。風力や波力、バイオマスも含め再生可能エネルギーの普及促進の考えは。

答 町長 地球に優しいまちづくりを基本目標にし、クリーンエネルギー事業を実施している。具体的には公共8施設に太陽光発電装置の設置や住宅用太陽光発電設置の補助金交付、税制上の軽減措置など、再生可能エネルギー促進に勤めている。未利用で再生可能エネルギー電源として期待



問 震災後、海底地形も変化したが、特に防波堤の考え方は現況と条件設定は異なる。地元からも港内に波が入り停泊に支障をきたしている。草蒲田漁港は町の主要漁港にもなる港であり良好な環境は必須である。港内の静穏度改善への推進策を具体的にどのように考えているのか。

答 草蒲田漁港は漁港北東の岸壁付近の波が高く、荒天時には係留しづらくなる。隻数も

問 震災後、海底地形も変化したが、特に防波堤の考え方は現況と条件設定は異なる。地元からも港内に波が入り停泊に支障をきたしている。草蒲田漁港は町の主要漁港にもなる港であり良好な環境は必須である。港内の静穏度改善への推進策を具体的にどのように考えているのか。

答 草蒲田漁港は漁港北東の岸壁付近の波が高く、荒天時には係留しづらくなる。隻数も

問 草蒲田漁港の災害復旧はほとんど完成した。今後、南側の流出した防波堤（西防波堤）の先端はどのような考え方で進めるのか。

答 町長 災害査定時の工法では安全性の確保が難しい。漁協からの要望もあり復旧しない方向でいく。

町長 漁協等の関係者と協議したい

草蒲田漁港の静穏化向上は

問 減り港内の静穏度が比較的低い場所に停泊してもらうことが有効な手段と考えている。

答 東側の波が入ってきた西防波堤に反射し荷揚げ場に当り港内で波が立つ。東側の防波堤を伸ばす整備計画とする考えは。

問 東側の波が入ってきた西防波堤に反射し荷揚げ場に当り港内で波が立つ。東側の防波堤を伸ばす整備計画とする考えは。

答 改築事業を漁港計画に載せることは難しい。東側に出すと静穏化に効果はありそうだが、草蒲田との間は航路として利用されており、大型漁船では弊害が出るとの意見もあった。漁協や漁業従事者と協議し意見を聞きながら進めていきたい。



草蒲田漁港の静穏化を

問 視点を変えてパイロット事業としてエネルギー実験装置と防波堤を整備し、減衰時のエネルギー再利用の可能性を探る考えはないか。

答 先駆的な部分があり、各種漁業権や発電施設の問題もあるので状況を見ていく。



えんどう ひさかず
遠 藤 久 和

海水浴場の万全な安全管理体制を

町長 問題点を把握し対応したい



子どもたちの歓声が響く

問 6年ぶりに10日間限定の海開きが開催され、予想を超える32000人の海水浴客が訪れた。今後の業務系エリアの活性化等に好影響を生む明るい出来事であったが、天候に恵まれた海開きの期間終了の翌日に水難者が出たことは残念でならない。多くの誘客の継続には安全管理体制の充実と情報の共有が重要である。来年は40日間を運営するということである。今回は、観光協会が運営主体であるが、実際は町職員が主体的であった。観光協会の関わりは出店者以外は希薄であった。来年は、どのような運営形態を考えているのか。

答 町長 今年以来年の本格運営を見据えて試験的な運営だったが様々な点が見えてきた。関係者全体で会議を開き

着実に対応していきたい。安全管理は天候に恵まれたのが幸いだったが非常に危うい体制であったと現場で感じた。装備や体制、情報の共有など十分だったと認識していたのか。

答 十分という認識はない。場内放送が聞き取れない等改善点は多くあった。

問 救助艇を配置していない状況があったがなぜか。

答 産業課長 救助艇は購入し配置したが、ライフセーバーの方に必要ないと言われたので引き揚げた。

問 ライフセーバーの方には操船の資格を持たないから要らないということだ。運営側に有資格

者がいない状況を反省すべきだ。6台もある拡声器を設置しなかったのはなぜか。

答 放送設備に関しては砂浜にポールを立てて設置するまでの発想に至らなかった。来年は設置したい。

問 最終日のビーチフェス中にライフセーバーに救助要請が入った。そのような状況を把握しているのか。

答 把握していない。

問 しっかりとしたルールを決めておくべきではなかったのか。来年は今回の体制での運営は難しい。行政の関わりは必要ではないか。

答 副町長 草蒲田観光協会の長い間の経験をしっかり聞いて笹山地



区の方々にも幅広く声掛けをしたい。今年中に来年に向けた会議を行いいたい。また、予算でも必要な部分においては検討してみたい。

問 マンパワーが不足していた。ライフセーバー等の専門家の確保や育成システムを考えるべきではないか。

答 町長 期間が短かったため学生アルバイトの応募がなかった。育成システムは町として難しいが、様々な策を早期に検討したい。

委員会レポート

これも議会の仕事です

総務教育

- ①屋内運動場 本体は比較的良好的な状態に保たれているが付帯のクラブハウスは老朽化が進んでおり一部破損箇所がある。
- ②町民プール 全体的に老朽化している。主な老朽箇所は・外側 鉄骨構造の基礎接合部、階段、雨樋排水、屋根等。
・室内 天窓、天井の張り部に錆びがあり、塗装の剥離がある。
- ③武道館 外側 屋根全体に錆びがある。
・室内 シャワールームの利用に工夫が必要。
- ④サッカースタジアム 特になし
- ⑤アクアリーナ 水処理施設が日本製に交換されている。特に問題点はない。
- ⑥歴史資料館 敷地内の水路管理と用地境界管理が不明瞭のため現在確認中。
屋外トイレの老朽化が顕著。
- ⑦野球場 野球場とアクアリーナ駐車場との連絡通路は危険。
- ⑧野外活動センター 施設配置の全面見直しが必要。陶芸用の窯と枯れ木の管理が問題。
- ⑨老人福祉センター 耐震上の客観的評価は確認されていない。再確認を要する。設備は何度も改良事業を受け、効率の良い施設配
- ⑩西部地区公民館（コミュニティセンター） 解体の計画があったが、地元からの要望により条件付で存続。一見健全と思われるが、耐震調査の実施状況を聞き取り、今後調査を行う。
- ⑪国際村 ホール棟大規模改修工事（外部壁面・客席改修・舞台照明設備）等が予定されている。



老朽化の町民プール

産業厚生

所管事務調査

「介護保険事業について」

本町に建設予定の認知症グループホームを運営する社会福祉法人・功寿会「市川桜の家」を視察しました。功寿会は松島町や多賀城市での運営実績があり、利用者の「安全・自由・笑顔のある豊かな暮らし」をモットーに運営しています。グループホームの最大の特徴は、認知症の高齢者がスタッフの支援のもとで、自立して普通の生活を送ることです。さらに、その地域にゆかりのある入居者と共に、家庭的な雰囲気の中で共同生活を送り、残存能力を活用して認知症の改善を図ることにあります。



視察した市川の桜の家

議運

議会報告・懇談会のあり方を検討

議会運営委員会は議会を円滑に、しかも効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれる委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を持ったものです。

●年4回開催される定例会と臨時会の円滑な運営のため、日程調整等と今後の改善に向けた反省会を実施。

●予算および決算報告を兼ねた地域住民との「議会報告・懇談会」開催に関する日程調整や準備。懇談会での意見や要望を議会で取り上げたり、町長に対し要望等を行っています。

今後、議会基本条例を制定している大河原町と当議会同様に制定せず活動をしている七ヶ宿町を視察し、本町の「議会報告・懇談会」のあり方を検討します。



議会報告・懇談会の様子

議会報告・懇談会を開催します



11月19日(土) 11月20日(日)

時間	会場	対象地区	会場	対象地区	担当
午前10時～11時30分	遠山地区避難所	遠山	汐見台第2分館	汐見台 汐見台南	第1班 歌川渡邊 渡淳衛 佐藤仁田 秀和
午後2時～3時30分	吉田浜コミュニティセンター	吉田浜	松ヶ浜地区避難所	松ヶ浜	
午前10時～11時30分	要害・御林地区避難所	要害・御林	湊浜地区避難所	湊浜	第2班 鈴木初雄 佐藤梶信 木村稔 佐藤壮一
午後2時～3時30分	代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜 亦楽力	笹山地区避難所	笹山 生涯学習センター前仮設住宅 入居者含む	
午前10時～11時30分	東宮浜公民分館	東宮浜	菖蒲田浜地区避難所	菖蒲田浜	第3班 我妻周悦 遠藤久和 熊谷明美 安倍敏彦
午後2時～3時30分	境山公民分館	境山	花洲浜地区避難所	花洲浜	

※議会だよりNo.129と広報しちがはま11月号を持参願います。
対象地区以外の方でも受付けますので、都合の良い会場にお越しください。



町内初の 認知症グループ

ホームの誘致が実現！

本町の高齢者福祉や介護保険事業計画の基本目標である「介護保険サービスのさらなる充実」の事業としてグループホームの誘致をしたところ、この度設置が実現します。また、平成20年から本議会でもグループホームの誘致を取り上げて来ましたので、開設までの経緯をお知らせいたします。

平成20年9月定例会

質問

身近な住み慣れた本町に民間委託を視野に入れた認知症グループホーム設立の考えはないか。

答弁

近隣市町村との連携を図り認知症者の推移や個人負担額および、実態調査の結果を踏まえて検討して行く。

平成21年

高齢者福祉計画・介護保険事業計画の地域密着型・介護予防地域密着型サービスとして、近隣市町村との連携を図り必要なサービ量を確保していた。

平成27年

介護保険事業計画等にグループホームの誘致を取り入れた。

平成28年6月補正予算計上

3200万円



完成予定のグループホーム（イメージ）

利用定員

9人×2ユニット＝18人

利用条件

①七ヶ浜町に現住所のある被保険者で要介護認定の結果、「要支援2」「要介護1～5」の認定を受けている方。
②主治医の診断で「認知症」の診断を受けている方。

※ ①、②両条件を満たしている方が入居対象となります。

事業者
社会福祉法人 功寿会

開設までの経緯
平成28年6月補正

平成28年7月
運営企業決定

平成29年3月
開設予定



グループホームとは、認知症の高齢者が専門スタッフによる入浴や食事、排せつなどの介助を受け、少人数で共同生活を送りながら、機能訓練を行うところです。

認知症高齢者グループホーム、認知症対応型共同生活介護とも呼ばれます。

※ 尚、設備等の詳しい内容は、産業建設・厚生常任委員会で調査しております。

クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 平成27年度一般会計決算の収支（収入-支出）が黒字になりました。さて、およそいくら残ったでしょうか。

- ① 3000万円
- ② 3億円
- ③ 30億円

問2 平成28年度に工事契約金額1億7496万円の人工芝張り替え改修工事が行われます。さて、どこの競技場でしょうか。

- ① サッカースタジアム
- ② テニスコート
- ③ 野球場

問3 防災行政無線を増設しましたが何カ所でしょうか。

- ① 3カ所
- ② 5カ所
- ③ 7カ所

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、**議会へのご意見**を書いてお送りください。

（メール可）

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を
進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成28年12月15日（当日消印有効）

前号の答え：問1 ③ 問2 ② 問3 ①

当選者：大山夏芽さん、亀山智美さん、
遠藤澄子さん

表紙に寄せて

今回の表紙は、「天日干し」をした稲の脱穀作業に汗を流している伊藤さんの登場です。伊藤さんは、住んでいた代ヶ崎浜の自宅が津波で流され仮設住宅に入りましたが、最近、東宮浜に移り新しい住居を構えました。



いとう しんいち
伊藤 新一さん
（東宮浜）

Q 農機具など津波で流されませんでしたか。

A 自宅と別の場所に保管していて無事でした。

Q 米作りは何年ぐらいになるのですか。

A 兼業農家として45年ぐらいになります。

Q 耕作面積と、作っている米の品種は何ですか。

A 20アール程度で、「ひとめぼれ」を作っています。

Q 昔ながらの「天日干し」の米作りにこだわる理由を聞かせてください。

A 最大の理由は、米の味が良いことです。また、子供や孫たちが昔からの生活環境に触れ、豊かな心の持ち主になってもらいたいからです。

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は12月7日開会予定ですー

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」を
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

編集後記

◆今年の夏は、菖蒲田海水浴場が10日間限定でオープンし、多くの海水浴客で賑わいました。観光面で町の復興に大きく前進できたのではないかと思います。

◆一方、農業においても、効率的な生産を目指すべく、中区画や大区画などの区画整理事業が進められております。

◆今回の議会だよりはいかがでしたでしょうか。これからも、多くの皆さまに親しんでいただけるように、委員一同工夫をしながら編集にあたりたいと思います。

佐藤 壮一



発行責任者	大町 睦夫	副委員長	佐藤 敏彦	委員	佐藤 敏彦	副委員長	熊谷 明	委員	木村 秀	委員	仁田 和	委員	岡崎 正憲	議長	佐藤 敏彦	議長	大町 睦夫
-------	-------	------	-------	----	-------	------	------	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------